

# 比較文化特論ⅠA

選択 2単位

コルネーリア・アスワ・エトラナ

## 1. 授業の概要(ねらい)

この演習では、現代にいたるまでの様々な文化に着目しそのルーツと発展を探り、色々なジャンルの文化について知識を身につけ、理解を深めていく。受講生は関心のあるテーマを自由に選び、教員が提示するやり方に沿ってレジюмеを作成し、授業で口頭発表を行い、その発表に対し他の受講生と教員の質問に答え、さらに皆で議論するという流れをとっている。セメスターにつき、発表は最低一回行うことを条件とする。

なお、個人発表は主であるが、全員が感心をもつテーマについて、グループ議論を行う予定である。

## 2. 授業の到達目標

- ・研究発表を通して論文を書く能力を高める
- ・全体的に「比較」を意識することで比較文化的な手法の応用について理解を深める

## 3. 成績評価の方法および基準

平常点(授業への積極的な参加、予習など)50%、発表50%からなる総合評価

\*3回以上の欠席(公欠を除く)は不可とする

## 4. 教科書・参考文献

教科書

プリントを用意し配布する。

## 5. 準備学修の内容

発表の事前準備(テーマ選定、参考文献の収集・整理、レジюмеの作成)を必要とする。

## 6. その他履修上の注意事項

継続的・積極的な受講を期待する。

## 7. 授業内容

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 【第1回】  | リエンテーション 演習について・発表の割り当て |
| 【第2回】  | 伝統文化の研究手法               |
| 【第3回】  | レジюмеの作成指導              |
| 【第4回】  | 個人報告と討論                 |
| 【第5回】  | 個人報告と討論                 |
| 【第6回】  | 個人報告と討論                 |
| 【第7回】  | 個人報告と討論                 |
| 【第8回】  | 個人報告と討論                 |
| 【第9回】  | 個人報告と討論                 |
| 【第10回】 | 個人報告と討論                 |
| 【第11回】 | 個人報告と討論                 |
| 【第12回】 | 個人報告と討論                 |
| 【第13回】 | 個人報告と討論                 |
| 【第14回】 | 個人報告と討論                 |
| 【第15回】 | 個人報告と討論                 |